

報告事項 ウ

夜間中学の検討状況について（先進地視察、シンポジウムの開催結果）

夜間中学の検討状況について、別紙のとおり報告します。

平成30年10月31日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

夜間中学の検討状況について（先進地視察、シンポジウムの開催結果）

平成30年10月31日

小 中 学 校 課

1 先進地視察の概要について

(1) 視察日時

平成30年10月16日（火）、17日（水）

(2) 視察場所

京都市立洛友中学校、京都市教育委員会（京都市総合相談センター）、尼崎市立成良中学校琴城分校

(3) 参加者

夜間中学等調査研究部会専門委員及び県教育委員会事務局職員

(4) 概要

①京都市立洛友中学校

- ・昼間部生徒（不登校経験者）と夜間部生徒（高齢者、外国籍の方、形式卒業者）が学び合う全国唯一の学校。
- ・生徒数：昼間部19名、夜間部24名（日々の出席者は、昼間部：10人程度、夜間部：15人程度）
- ・教員配置：校長1名、教頭1名、教諭4名、養護教諭1名、常勤講師4名、非常勤講師8名、事務職員1名、他にスクールカウンセラー、総合育成支援員、母語支援員等を配置。
- ・勤務時間（常勤の教員）：昼間部、夜間部とも全て同じ時間帯で勤務している。
- ・定数：へき地校並みに手厚く配置されているが、きめ細やかな対応が必要であり、人員は不足している。 学生ボランティア等も活用して対応している。
- ・5校時と6校時（17：00～18：15）に昼間部生徒と夜間部生徒と一緒に授業を受ける交流・合同授業を実施。
- ・昼間部は平成19年3月に不登校特例校に指定され、年間授業時間数は770時間。繊細な子どもが多く、年間を通じて校外学習を多く取り入れて、気持ちがりフレッシュできるよう配慮している。
- ・一度転入学すると、京都市内の別の中学校には転校できない仕組みとなっているため、転入学にあたっては慎重に検討した上で選択・判断してもらうようしている。
- ・夜間部は、高齢者が多いので授業時間が長いと集中力が続かないため、45分×3コマの授業にしている。
- ・外国籍の方は口コミで入学する方が多い。

②京都市教育委員会

- ・洛友中学はもともと夜間中学として設置し、昼間部は後から追加した。午前からの登校が難しい生徒が通っている。京都市内の不登校対応の学校としては洛風中学校もある。そちらは午前中から授業があるため、午前からの登校が可能な生徒が通っている（現在44名）。
- ・京都府の不登校生徒は2,457人（うち京都市の不登校生徒は1,088人）。不登校相談支援センターに通う生徒は約240人。
- ・夜間部の入学者ニーズは減ってきている。
- ・京都府では夜間中学の設置に向けた検討委員会を設置しているようだが、京都市の人口規模であるからこそ成立している仕組みであり、京都府内でも日本海側や中山間地では成り立たない可能性が高い。
- ・今後、京都市内に3部制（昼間、夜間、通信）の新しい高校を設置する予定である。
- ・京都市内に連携しているフリースクールは4団体あるが、学校復帰よりも、主に子どもの居場所づくりという考え方が強い。

③尼崎市立成良中学校琴城分校

- ・昭和51年に24名の入学生でスタートし、以前は在日韓国人や中国人が多かったが、現在は新渡日の方が増加傾向にある。
- ・入学対象者は義務教育の年齢を超えた人であり、学齢期の生徒は対象外。
- ・教員配置：校長1名（本校と兼務）、教頭を含む教諭8名、加配（児童生徒支援）1名、校務員1名
※養護教諭と事務職員はいないので県に要望中（スクールヘルスリーダーが年間35回配置）
- ・現在は車いすの生徒や高齢者が通いづらいこともあり、隣の旧小学校に移転予定（平成32年4月）。
- ・車の免許を持たない人が多いため、公共交通機関で通える場所に設置する必要がある。ただ、この場所も夜はかなり暗くなるため、仮に学齢期の生徒が通うとなると防犯上の不安はある。
- ・外国籍の方の入学希望者は、ほとんどがロコミによる。
- ・入学希望既卒者は3年前から試験的に入学を認め、現在は2名在籍。市教委が面談し、入学を決定している。
- ・分校方式は全国で3つ。生徒数が減っても教員定数は変わらないため、学校経営的には安定しているが、一定の人件費は常に必要になる。
- ・定数上は第1～3学年で3学級が認められているが、日本語の習得度で5クラス編制にしている。
- ・外国籍の方に配慮し、「国語」という教科名ではなく、「日本語指導」という教科名を使用している。
- ・就学年限は3年だが、現級留置の制度があり、中には9年目の生徒もいる。神戸市は3年間までで延期は不可、奈良市は12年まで等、自治体によって制度が異なる。
- ・何らかの理由で学ぶことができなくなった場合、一旦除籍して、学べるようになってから再度入学する方もある。
- ・国勢調査で未就学者の数字が公表されているが、未修了者は含まれていないため、全国的には100万人以上の規模の人がいるはず。ただ、ニーズ調査は非常に難しい。識字学級の支援者などに調査をするのがよいかもしい。

2 シンポジウムの概要について

(1) 開催日時等

- ①西部会場：平成30年10月27日（土） 米子市立図書館（参加者64名）
- ②東部会場：平成30年10月28日（日） 鳥取市福祉文化会館（参加者64名）

(2) 概要

①基調講演「学びの機会確保の必要性和夜間中学設置の意義について」

講師：文部科学省初等中等教育企画課制度改革室 大類 由紀子 室長補佐

- 夜間中学の経緯と設置状況、夜間中学の対象者の入学理由と卒業後の状況等、夜間中学をとりまく現状について説明いただくとともに、学びの機会確保の必要性和夜間中学設置の意義について講演いただいた。
- 学習指導要領の改訂（中学校学習指導要領の総則に、学齢経過者への配慮を明記）や夜間中学における日本語指導研修会の開催等の文部科学省の取組に加え、夜間中学の運営について市町村間の経費負担の工夫が行われていることや教育課程特例についても紹介いただいたことで、夜間中学をはじめとした学びの機会確保への理解を深めることにつながった。

②パネルディスカッション「学びの機会確保と夜間中学」

パネリスト：文部科学省初等中等教育企画課制度改革室 大類 由紀子 室長補佐
京都市立洛友中学校 間野 郁夫 校長
鳥取県教育審議会夜間中学等調査研究部会 山根 俊喜 部会長
鳥取県教育委員会事務局 足羽 英樹 教育次長

○不登校生徒の通う昼間部と夜間部を併設する洛友中学校の実際や夜間中学等調査研究部会による視察の概要について紹介いただくとともに、文部科学省としての政策的意図を補足していただいたことで、夜間中学が学びの機会確保の一つであることを確認できた。

○鳥取県における設置に向けた課題として以下の3点を示した上で、文部科学省や夜間中学を運営している立場から発言いただき、今後の方向性を検討していくためのヒントを得ることができた。

- ・どの対象者に、どんなニーズがあるのかについて、どのように把握していくのか
- ・もし設置するのであれば、どこに設置するのか
- ・誰を対象に、どのような学校にしていけるのか

・情報は口コミで伝わることが多いが、メディアの影響も大きい。

・ニーズを対象者本人だけでなく、支援をしている人からも聞き取ってもらいたい。

・京都府も山間部等になると通うことは困難になるので、鳥取と同様の課題に直面している。

・洛友中学校に通ったからといって不登校でなくなるわけではない。選択肢の一つではある。

・誰を対象にするのかにかかわるが、日本語指導を含めた教職員の指導力も必要となってくる。

○参加者からも質問等をいただき、参加者とともに今後の方向性について考えることができた。

・日本語指導の資格を持っている人が少ないという現状の改善が必要。

・まずは学齢超過者のニーズに対して夜間中学をつくり、その後学齢生徒のニーズがあれば段階的に門戸を広げてはどうか。

・ニーズは確実にある。でも、学びの確保は夜間中学だけではない。教育支援センターやフリースクールなどを充実させていくことも必要ではないか。

(3) 参加者の感想（一部抜粋）

・既存の教育機関、支援機関の役割整理が必要になるのではないかと思う。今日的なニーズ、対象からすると「夜間」に必ずしもこだわることはないと思う。

・不登校児童・生徒が多い中、それらの支援と絡ませながら夜間中学の検討を行っていただきたい。不登校の問題は深刻。アンケートの存在を、今日初めて知った。福祉や心理等の関係者からも情報を集めていただきたい。

・教員の力量が必要であり、ニーズに応えられる教育という点で大変だと思った。

・米子東高校や米子白鳳高校、鳥取緑風高校に附属のようなものはできないのか。不登校の子は米子白鳳高校でもいっぱいいるので、中学校からの学び直しも対応できると思う。

・税金を使う以上、ニーズを度外視してというのは難しいと思うが、まずは学齢超過者のために1学級設置して、その後、学齢生徒へも対象を拡大していくというのは、具体的で可能かもしれないと感じた。

・この講演会に参加するまで、夜間中学のことについてはほぼ知識がない状態だった。私のような現状の人は多いと思うので、少しずつ自分から発信していきたいと思えた。

・義務教育の一つとはいえ、費用対効果も考える必要があると思うが、そこには触れられず、良い面だけのPRで終わった印象。

・ニーズはあるが、現状の取組で代用できないか。コストのかかることであり、慎重に検討をすすめてほしい。